

The 9th World Congress of Biomechanicsでの研究発表



目で見る
海外論文発表

齋藤 匠*

Presentation at
the 9th World Congress of Biomechanics 2022

Key Words : Biomechanics, Bioengineering, Biophysics, Mechanobiology, Cell Biology

<参加会議名>

The 9th World Congress of Biomechanics

<開催場所> Taipei

<渡航期間> Online

<発表タイトル>

Simultaneous measurement of intracellular flow
and molecular turnover in stress fibers

本会議は1990年に米国カリフォルニア州で開催された最初の会議から、南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア・オセアニア地域で4年に一度開催される国際会議です。その特徴的な点は、分子、細胞、組織、臓器のレベルから生体システム全体に及ぶ幅広いスケールで、基礎研究および臨床応用における新しいアイデアや技術を持つ研究者と交流できることです。また、会の名前にもなっている「Biomechanics」、つまり生命現象に隠れている力学に着目している点も特徴といえるでしょう。第9回の本会議は台北（オンラインとのハイブリッド形式）で行われました。私は今回、本会議において自身の博士課程での研究の集大成を口頭発表しました。内容は、生きた細胞内の力学を計測・定量する新たな技術、そこからひも解く分子の力学への関与に関する研究でした。英語での発表は初めてではないですが、国内外からの参加者が多くて緊張しました。しかし、自分のやっ

てきた研究に自信をもって発表しました。その甲斐あつてか、該当セッションでは関連する研究者から質問を受け、今後の研究を向上させる議論ができました。さらには、「JSME-BED Outstanding Young Researcher Presentation」に選出され、本会議でのAward sessionに招待されました。そのセッションにおいても、生命の分子生物学的側面から物理的側面まで幅広く議論を展開していて、それらの面白い発表の聴講を楽しむことができました。これらの経験を糧に、自分も国際的な立場で幅広い視点を持ちつつ研究に励もうと思いました。

最後に、本発表内容に関してご指導いただきました出口真次先生に感謝申し上げるとともに、このような貴重な機会を賜りました生産技術振興協会に御礼申し上げます。



発表の様子



* Takumi SAITO

1996年3月生まれ
大阪大学基礎工学研究科機能創成専攻卒業 (2022年)

現在、東北大学/Yale University
医工学研究科医工学専攻/Yale School of
Medicine 日本学術振興会特別研究員PD
博士(工学) 専門/機械工学、生体工学
TEL : 02-2795-6958

FAX : 02-2795-6959

E-mail : takumi.saitou.b2@tohoku.ac.jp



JSME-BED Outstanding Young Researcher Presentation
授賞式の様子